

1月5日：投資家の利益確定売りが強まり、VN指数は小反落

水曜日のベトナム市場は、多くの銘柄に売り注文が広がり、特に製造、不動産、銀行セクターの下げが目立った。ホーチミン市場のVN指数は下落したが、ハノイ市場のHNX指数は上昇した。

ホーチミン市場のVN指数は小幅に下げるも、1,500ポイントの大台を割ることはなかった。同指数は0.2%（3.08ポイント）安の1,522.5ポイントでこの日の取引を終えた。同指数は前日に20ポイント近く上昇していた。

騰落別では240銘柄が下落、221銘柄が上昇した。出来高は前日比で増加し、売買高は10億株を超え、売買代金は約33兆ドン（14億5,000万米ドル）となった。

投資家の利益確定売りは多くの大型株に重しとなった。VN30指数は0.82%（12.86ポイント）安の1,546.01ポイントで取引を終えた。

同指数採用銘柄のうち、19銘柄が下落、10銘柄が上昇し、そのうち1銘柄がストップ高を付けた。1銘柄は変わらずだった。

マサングループ（MSN）は5.29%と大きく下げた。ビンググループ（VIC）-0.99%、ビンホームズ（VHM）-1.29%、ベトコムバンク（VCB）-1.27%、VPバンク（VPB）-1.53%もそれぞれ軟調な値動きだった。

今年最初の取引だった昨日、マーケットは大きく上昇した。しかし利益確定売りを受けて大手銀行株は大きく下げた。値下がり銘柄には軍隊商業銀行（MBB）、HDバンク（HDB）、テクコムバンク（TCB）、ベトナム投資開発銀行（BID）、アジアコマーシャル銀行（ACB）が含まれ、それぞれ少なくとも0.8%下げた。

しかし、一方で大型株の一部に買いが入った。WTI原油先物価格が80米ドルをつけたことが追い風となり、ペトロベトナムガス（GAS）は3.04%高とこの日大きく上昇した。

他にもビンコムリテール（VRE）、DIC（DIG）がそれぞれ+7%のストップ高で、さらにベトナムゴム工業グループ（GVR）が2.13%と大きく上昇した。

一方、ハノイ市場の HNX 指数は 1.32% (6.26 ポイント) 高の 480.36 ポイントでこの日の取引を終えた。

売買高は 1 億 3,760 万株で、売買代金は約 4 兆 1,000 億ドンとなった。

外国人投資家は両市場（ホーチミン、ハノイ市場）で 2,207 億 7,000 万ドンを売り越した。そのうちホーチミン市場で 2,564 億 8,000 万ドンを売り越し、ハノイ市場では 357 億 1,000 万ドンを買い越した。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。